

夜久野自治会だより

第35号

平成27年
7月号

大油子観音祭り (毎年7月10日)



本殿に到着、ほっとひといき



参道に数カ所ある
お地藏さんにもお供え

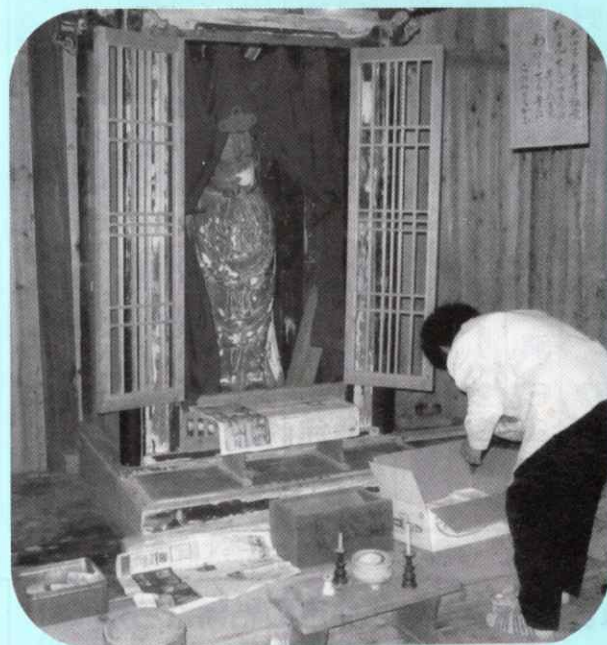


参道を登る



大山の七合目辺りにある観音堂は、
観音菩薩立像が安置されており、古く
から7月10日は、観音堂に参拝し、
本殿の釣鐘を叩いてお願いをすると、
願いが叶い御利益があるという有難い
日と言われられております。

(観音立像は福知山市指定文化財です)



本殿の中で礼拝の準備

おもな内容

会長あいさつ	2
定期総会	3
平成26年度決算報告	4
輝く夜久野の子どもたち	5
「夜久野みらいまちづくり協議会」発足	6・7
まごころ銀行(ふるさと基金)	8

就任にあたって



夜久野町連合自治会
会長 尾上 繁 数

この度、平成27年度夜久野町連合自治会長をお受けすることになりました。私にとりましてはたいへんな重責を感じております。また、夜久野地域の事情にも疎くご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、連合自治会の運営・発展に少しでもお役に立てるように取り組んでまいりますので、どうかこの一年間よろしくお願い申し上げます。

一市三町が合併してから平成28年1月で10年の節目となりますが、夜久野地域の現状は、過疎化が進み、住民の皆様の悩みは大きなものがあり、課題・問題点の解消に向けた取り組みが急務となっております。

さて、昨年度におきましては、連合自治会の役員の方々を中心に、「夜久野みらいまちづくり協議会準備委員会」が立ち上げられました。準備委員会では、先進地の視察や勉強会を重ねることも、「自治会アンケートの実施」や「夜久野みらいを語る100人ミーティング」、「まちづくり講演会」の開催を通じて、多くの住民の皆様の貴重な意見を基に夜久野の将来計画「夜久野みらいまちづくりビジョン」(案)が作成されました。

今年度におきましては、住民の方々に、これまでの取り組みについて理解を頂くため、本年度6月27日に「住民説明会と情熱ミーティング」を開催し87名の参加を頂いたところです。また、7月14日には設立総会を終え、正式に「夜久野みらいまちづくり協議会」が設立されました。

今後は、5つの部会を中心としてそれぞれの課題解決に向けて活動していくこととなります。

今年度は、「地域の活性化は、その地域に住む住民一人一人の自意識の総量で決まる。」この言葉のとおり、地域の皆様方のご理解、御支援がなければ何も実現しません。今後、活動を進めるにあたり一人でも多くの方に参加頂き、より多くのご意見賜りますようお願いする次第でございます。

1年間よろしくおねがいします <各集落自治会長> 平成27年度自治会役員

井上 強(門垣)	尾上 繁数(天連子会長)	関口 修(小倉幹)	日下 叔武(高内幹)	衣川 正幸(末監)	中川 文男(日置幹)	足立 義照(下原)	森下 春雄(中原)	安達 裕(上原幹)	上田 義美(向)	衣川 喜好(奥)	後藤 良紀(旦幹)	波多野 博(留町幹)	衣川 宜男(下町)	近藤 達和(井田幹)	衣川 進(西中幹)	赤井 吉朗(小畑幹)	片山 四郎(桑村)	村田 初男(西谷)	湯口 修(金尾)	永井 一男(稲垣)	水本 克則(柿本副会長)	中塚 秀彰(今里)
矢野 哲夫(夜野幹)	藤原 進(奥坂)	高橋 逸郎(駅前)	夜久 建男(水坂)	衣川 正巳(水上監)	居相 芳明(平野幹)	内山 誠吾(田谷)	川戸 洋一(今西)	森川 強志(現世)	衣川 元明(奥)	山田 実(羽白幹)	塩見 始(三谷)	衣川 淳(榎上町)	清水 清巳(中田幹)	衣川 豊(才谷)	谷口 隆広(栗尾)	中島 卓夫(宮垣)	羽上 田良和(西垣)	中島 松治(桑谷幹)	飯尾 恒洋(大畑幹)	山田 好昭(金谷)	井上 一巳(山中副会長)	西 昭則(副谷)

幹印は、「連合自治会」幹事 監は監事

JAは夜久野自治会を応援しています。住みよい町づくりは住民の結集から。

豊かな暮らしの応援団 ● JA京都にのくに 夜久野支店

電話 (0773) 37-1121

夜久野連合自治会 平成二十七年 定例総会

○活動方針

一、自治会活動等の推進、支援

- ・京都府・福知山市への自治会共通要望事項のとりまとめと実現に向けた活動
- ・京都府（中丹西土木事務所）の河川掃除委託のとりまとめ、申請、支払
- ・自治会活動保険の加入
- ・「家庭ゴミ収集カレンダー」の作成・配布

- ・「夜久野自治会だより」の発行（活動交流、コミュニケーションづくり）
- ・まちづくり紹介コーナーの充実
- ・吊り下げ懸垂幕の活用（福知山市商工会所有の額田広告塔への掲示）

二、行政や各種団体等と一体となった課題解決への取組み

- (1) 安心で安全なまちづくり
 - ・自主防災組織の結成の促進
 - ・民生児童委員との連携による防災訓練の実施、災害時要支援者の把握、支援体制の確立

（災害時一人も見逃さない運動）

三、公民館との連携

- ・地域住民（特に子供・高齢者）の安心・安全のためのこえかけ運動、パトロールへの協力
- ・夏期期間中の下地区プールの管理への財政支援
- (2) 住みよいまちづくりの推進
 - ・「夜久野みらいまちづくり協議会」（仮称）の設立
 - ・若者の定住、N・U・ターン者の促進対策
 - ・三小学校、役場跡地の有効活用
- (1) 地区公民館の充実
 - ・上、中、下地区公民館の運営体制の確立・強化
 - ・地区運動会や各種事業の充実
- (2) 地域公民館活動との連携支援
 - ・まちづくり活動、文化活動への連携支援（健康環境委員研修、人権推進委員研修、サロンボランティア支援、まちづくりの学習、ふれあいいきいきフェスタ（公民館まつり）など）

平成27年度・夜久野町連合自治会 予算書

《一般会計》

平成27年4月1日～平成28年3月31日

（収入の部）

単位：円

科 目	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	摘 要
繰 越 金	18,936	18,936	65,367	前年度より繰越金
会 費	659,500	647,500	646,500	500円×1,293戸
協 賛 金	200,000	205,000	200,000	27企業・団体
繰 入 金	0	0	0	
雑 収 入	50	93,595	50	預金利息
合 計	878,486	965,031	911,917	

（支出の部）

単位：円

科 目	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	摘 要
会 議 費	15,000	10,555	15,000	中地区公民館使用料
通信交通費	25,000	39,010	35,000	切手・はがき・郵送料・旅費
事 務 費	35,000	16,459	20,000	ゴム印等事務用品・インク代
事 業 費	800,000	833,640	820,000	自治会だより・ゴミカレンダー プール支援・事務局委託費 みらいまちづくり委員会支援
繰 出 金	0	0	0	
予 備 費	3,486	0	21,917	
合 計	878,486	899,664	911,917	



地域社会の環境
と自然を守る！



株式会社クリア
京都府福知山市夜久野町額田373番地
TEL (0773) 37-0304

《特別会計》

〈収入の部〉

単位：円

科 目	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	摘 要
繰越金	12,994	12,994	11,035	前年度より繰越金
河川掃除受託	9,175,950	9,438,120	9,438,120	府中丹土木事務所から
雑収入	60	61	60	預金利息
合 計	9,189,004	9,451,175	9,449,215	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	摘 要
租税公課	10,000	10,000	10,000	収入印紙
配分金	9,165,000	9,430,140	9,425,000	44自治会配分額
事務費	5,000	0	5,000	
繰出金	0	0	0	
予備費	9,004	0	9,215	
合 計	9,189,004	9,440,140	9,449,215	

平成26年度・夜久野町連合自治会 会計決算報告書

《一般会計》

平成26年4月1日～平成27年3月31日

〈収入の部〉

単位：円

科 目	26年度予算額	26年度決算額	増 減	摘 要
繰越金	18,936	18,936	0	前年度より繰越金
会費	659,500	647,500	△12,000	500円×1,293戸
協賛金	200,000	205,000	5,000	27企業・団体
繰入金	0	0	0	
雑収入	50	93,595	93,545	預金利息(40)、まちづくり準備委員会(93,555)
合 計	878,486	965,031	86,545	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	26年度予算額	26年度決算額	増 減	摘 要
会議費	15,000	10,555	△4,445	総会(お茶)、中地区公民館使用料
通信交通費	25,000	39,010	14,010	切手・はがき・郵送料・旅費
事務費	35,000	16,459	△18,541	ゴム印等事務用品、インク代
事業費	800,000	833,640	33,640	自治会だより(332,640)、ゴミカレンダー(41,000) プール支援(80,000)、事務局委託費(360,000) まちづくり準備委員会(20,000)
繰出金	0	0	0	
予備費	3,486	0	△3,486	
合 計	878,486	899,664	21,178	

(収入) 965,031円 - (支出) 899,664円 = 65,367円【次年度へ繰越し】

《特別会計》

平成26年4月1日～平成27年3月31日

〈収入の部〉

単位：円

科 目	26年度予算額	26年度決算額	増 減	摘 要
繰越金	12,994	12,994	0	前年度繰越金
河川掃除受託	9,175,950	9,438,120	262,170	府中丹西土木事務所から
雑収入	60	61	1	預金利息
合 計	9,189,004	9,451,175	262,171	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	26年度予算額	26年度決算額	増 減	摘 要
租税公課	10,000	10,000	0	収入印紙
配分金	9,165,000	9,430,140	265,140	44自治会配分額
事務費	5,000	0	△5,000	
繰出金	0	0	0	
予備費	9,004	0	△9,004	
合 計	9,189,004	9,440,140	251,136	

(収入) 9,451,175円 - (支出) 9,440,140円 = 11,035円【次年度へ繰越し】

以上のとおり決算報告をいたします。

平成27年3月30日

夜久野町連合自治会 会計 衣川 正巳

輝く夜久野の子どもたち

気仙沼市立大島中学校
との交流を通して
～震災に学ぶ～

夜久野学園 9年生 修学旅行

2015. 5. 20～22

大島の美しい自然

坊ちゃんカボチャの栽培

深まった大島中学校との絆

昨年、大島で獲れたホタテをいただきました。そこで学園では今、『坊ちゃんカボチャ』を栽培し、大島中学校へ贈る予定にしています。畑をお借りしたり、栽培方法を教えていただいたりと地域の皆様に大変お世話になっています。ありがとうございます。

『3月9日』を
合唱しました



震災の爪あと



五月二十日(水)～五月二十二日(金)、二泊三日で九年生が、東北・東京方面へ修学旅行に行ってきました。今回は被災地である石巻市の門脇小学校を訪れ、避難経路であった石の階段を実際に見たり、被災者の方から話を聞いたりして防災意識を高めました。また、三回目となる気仙沼市立大島中学校との交流や語り部による震災講話を通して、被災地の人々の思いを肌で感じ取りました。

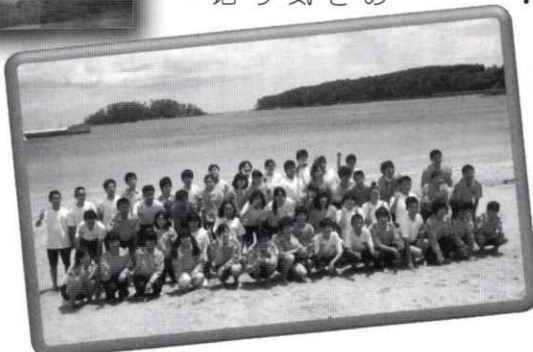
自己紹介交流会



大島とお別れ



畑の草引き



これからもずっと
交流が深められる
といいな～

発表の様子



伝え合う力のアップ

修学旅行 学びのまとめ

九年生の発表を聞いた七・八年生は、『被災地の人々の思いがよく分かった』『防災学習はふるさとを守る上でも大切だから、しっかり学んでいこうと思う。』等、伝え返すことができました。九年生の熱い思いがしっかりと伝わったことが、言葉の端々に感じ取れ、有意義な学びの時間となりました。今後学園では、自分の考えを自分の言葉で伝え合う、はつらつとした児童生徒の育成に努めていきます。

子どもたちは、修学旅行での学びを今後、どのように自分の生き方に活かしていくのかをまとめ、六月十日(水)に、七・八年生に向け毎日に発表しました。東北の震災の被害の状況、そして何よりも大切な人や大切な思い出を失われた方々の悲しみや辛さに心を痛めている様子が伝わりました。また反対に、復興へ向けた人々の苦労や努力、強く生き抜く人々の姿に勇気付けられたり、災害を想定した避難訓練や防災学習の大切さに気づく等、それぞれに、自分のことばで東北の震災に対する思いを、熱く語っていました。



医療法人 育成会
なかじ医院上夜久野診療所
理事長 中路 正 明

診察日 月・火・水・木・金・土(日・祝日 休診)

夜久野町直見6267-1

電話 (0773)38-1017 番 FAX (0773)38-1369 番

夜久野みらいまちづくり協議会発足

7月14日、夜久野ふれあいプラザホールにおいて「夜久野みらいまちづくり協議会」設立総会が開催されました。平日夜間にも関わらず、97名の出席を得て、規約をはじめ今年度の活動方針、予算、役員などが大きな拍手により承認されました。

設立総会でのあいさつ

準備委員会副委員長 衣川 裕 次

本日は、大変ご多忙の中、まちづくり協議会設立総会に、この様な多くの皆様にご出席頂き厚く御礼申し上げます。

日頃は、協議会設立準備において、各自治会長様をはじめ、関連団体様、企業様、そして住民の皆様には、格別なご支援とご理解を賜り重ねて御礼申し上げます。

また、夜久野支所選任担当、地域公民館の皆様には、この一年間大変なご協力を頂き、お陰様で「夜久野みらいまちづくり協議会設立総会」が壮大に開催できる運びとなりました。

設立準備委員会の皆さんにおかれては、平成二十六年から各自治会の重責を背負いながら、精力的に準備を進めてごられ、自治会長の任が終わった後も、引き続き準備委員会として努力され、その姿に今後の活動に向けて気持ちを新たにしたいところです。

また、本日は福知山副市長伊東尚規様にお越し頂いております。公務ご多忙の中、貴重な時間をさいて頂き厚く御礼申し上げます。

私たちは今、夜久野地域が抱えている色々な課題に対し、地域の特性と資源を活かすため、行政財源をうまく使いこなせる論議が、同じテーブルにつける環境を整える必要があり、同時に住民自らの新しい「しくみ」として、協働型地域社会を目指しております。

「夜久野のプライドと誇り」をもつて、「未来のあるべき姿」を想定し、知恵と勇気と情熱をもって本気で、夜久野独自の取り組みをしていきますので、副市長様におかれましては十分なご理解を賜り、「夜久野地域の特性」に応じた行政の支援を切にお願い申し上げます。

「文化は形に宿る」という言葉があります。夜久野の素晴らしい自然、その中で育まれた人々の温もりや思いやりの中、先人より受け継がれた私たちの誇れる暮らし（町並み）があります。その形を失えば夜久野の文化も消えてしまいません。わたくしは現況の難局を何とか乗り越えなければなりません。

この取り組みは、これから大変なエネルギーと相当な年月を要する取り組みになってきます。

本日まではその為の準備期間でした。いよいよ夜久野が未来へ向けたその鼓動の始まりです。どうか皆様！引き続きご支援と協力を、これまでも増しをお願い申し上げます。

市長からの祝詞

福知山市長 松山 正 治

本日ここに「夜久野みらいまちづくり協議会設立総会」が盛大に開催されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

先程、「夜久野みらいまちづくり協議会」が設立されまして、誠にめでたいと思います。福知山市は「市民協働型社会」の実現のため、平成二十一年度の市民協働まちづくり研修会に始まり、つづいて平成二十三年度からの市民協働推進会議により市民が中心となって本市における市民協働の推進と、そのあり方そのものを議論してまいりました。

平成二十一年度から数え、五年間に渡る幾度も会議、模索・検討の積み上げから導き出されたものが、「自治基本条例の制定」と、この「地域協議会の設置」を含む提言でありました。

福知山市では、本年度からスタートしました「三和地域協議会」に続いて、夜久野地域においても「夜久野みらいまちづくり協議会」が設立され、住民の皆さま自らが、地域の将来像を考え、自治の主体となったまちづくりの取り組みを始められることに、心から喜びを感じております。

夜久野地域は、福知山市の中でも、とりわけ少子高齢化、また人口減少が進む地域ではあります。道の駅「農匠の郷やくの」をはじめとした福知山市の西の玄関口であります。

私は、周辺部の活性化なくして福知山市の活性化はないと常々考えており、一市三町合併後十年の節目の年となります本年を、近未来、次の十年へと地域、そして夢と希望をつなぐ架け橋の年として「福知山・未来創造 人と地域をつなぐ 幸せの舞台づくり」の年と位置づけ、地域のつながりを力に変えて、市民の皆様と行政とが一体となって、人口減少対策や地域活性化を図る地方創生にも取り組んでいくことを目指しています。

これからのまちづくりは、内も外も、若いも若きも、官も民も一体となり、その持てる力の総体でもって取り組む必要があり、まさにその実践をこの「夜久野みらいまちづくり協議会」がしていただけるものと確信いたしております。

「夜久野みらいまちづくりビジョン」に掲げられておられます「住んでよかった このまち」をめざして、これから様々な議論や取り組みをしていただき、夜久野地域の住民の意見を反映したまちづくりが実現されることを期待しております。

市としましても、協働の精神で支援を継続しながら、活力のあるまちづくりを考えていきます。

福知山市の更なる発展をめざすとともに、「北近畿をリードする創造性あふれるまち」の実現に向けて全力を傾けていく決意を新たにしていますので、皆さまの一層の御協力、御理解をお願い申し上げます。

結びに、「夜久野みらいまちづくり協議会」の設立にあたり、御準備に奔走された設立準備委員会、夜久野町連合自治会の皆さま方に心から敬意を表しますとともに、今後益々の発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成27年度
夜久野みらいまちづくり協議会 各担当者

役 職	氏 名	
会 長	尾上 繁数	連合自治会会長
副 会 長	荒木 光雅	H25年度連合自治会会長
会 計	足立 義照	H26年度連合自治会会長
監査委員	衣川 憲治	税理士
	衣川 道治	行政書士
《やくの創生会議》		
委 員 長	衣川 裕次	H26年度額田区自治会会長
副委員長	衣川 一成	H26年度連合自治会副会長
委 員	衣川 正巳	上地区公民館長
委 員	水本 克則	下地区自治会会長
委 員	井上 一巳	上地区自治会会長
事務局長	中島 松治	地域公民館館長
事務局員	萩野 成生	支所選任担当
《行政窓口》		
夜久野支所	衣川 剛志	行政調整選任担当

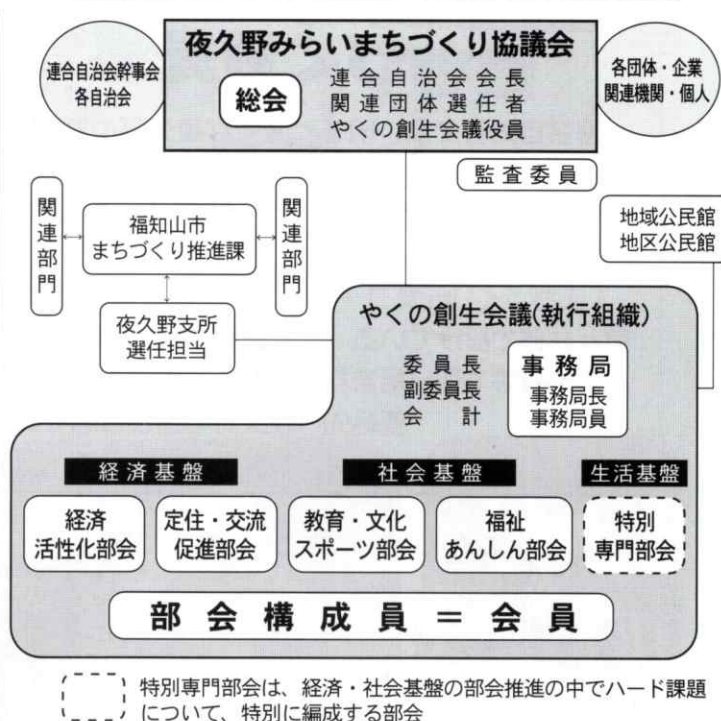
※部会長は総会後各部会で選出



協議会の台言葉

地域の中で起きている困りごとに
目を向けよう
共感し合える「仲間」をつくろう
話し合いや相談できる「場」をつくろう
無理せず、身近なことから取り組もう

夜久野みらいまちづくり協議会組織編成図



特別専門部会は、経済・社会基盤の部会推進の中でハード課題について、特別に編成する部会

夜久野みらいまちづくり協議会 設立趣意書

私たちの住む夜久野地域は、少子高齢化、人口減少が進み、このまま何もしなければ、集落機能まで失いかねないという危機に直面しています。

夜久野町連合自治会では、この厳しい現実を受け止め、また、地域住民と行政が意見を交わしキャッチボールのできる組織を立ち上げるべく、準備組織として、平成26年6月に「夜久野みらいまちづくり協議会設立準備委員会」を立ち上げました。

準備委員会では、100人ミーティングや講演会の開催、先進地の視察・研修を実施して、みなさんの願いや夢を「夜久野みらいづくりビジョン2024(案)」としてまとめました。

夜久野のめざす将来像「住んでよかった このまちに」という、このビジョン(案)を実現すべく、誰かに任せるのではなく、地域の住民自らが、まちの課題について考え、行動し、行政と協働を図りながら課題を解決をめざすため、ここに「夜久野みらいまちづくり協議会」を設立します。

平成27年7月14日

夜久野みらいまちづくり協議会設立準備委員会



総合建設業
株式会社 衣川 組
〒629-1312 京都府福知山市夜久野町末718-1

地域とともに歩みます
お気軽にご相談下さい
☎0773-37-1155

あなたの地域のニュースをお寄せください。

どんどん
紹介します！

自治会だより (まちがどつオト) まちづくり元気コーナー

ふれあいプラザ
玄関ロビー



連合自治会では、明るく元気な夜久野の郷づくりをめざしています。各自治会の催しや伝統行事、郷づくりの取り組みなどを、「自治会だより」や、ふれあいプラザ掲示板「まちづくり元気コーナー」などで紹介します。

「まちづくり元気コーナー」は、夜久野ふれあいプラザロビーの掲示板に、夜久野地域公民館と共催で設けている、元気な郷づくりのためのコーナーです。

自治会等で取り組まれた活動の記事や写真などを、ぜひお寄せください。

連絡先 (夜久野町連合自治会長 尾上繁数 38-0926)

(夜久野地域公民館 37-1188)

編集委員

一年間よろしく
お願いします。

大日	近水	井尾	編集委員	居相	編集委員長
本下	藤本	上上	委員	相芳	
夏叔	達克	一繁		芳明	
代武	和則	巳数			

賛助会員募集

各事業主様へのお願ひ

夜久野町連合自治会では賛助会員の募集をしております。

この賛助会員は、夜久野町連合自治会の趣旨をご理解賜り、ともに夜久野地域の発展に寄与していこうとするものであります。

ご賛同いただきご加入を希望されますかたは、左記までご連絡ください。

なお、ご加入いただきましたら、順次、「夜久野自治会だより」に貴事業所の広告を掲載させていただきます。予めご了承ください。

夜久野町連合自治会

会長 尾上 繁数
電話 三八〇九二六

ふるさと基金

まごころ銀行

篤志ありがとうございます。

☆平成二十七年二月

亡父供養 衣川 正和様(下原)

亡母供養 小林 正雄様(羽白)

☆平成二十七年三月

亡母供養 高橋 幹夫様(宮垣)

☆平成二十七年四月

亡母供養 後藤 良紀様(旦)

亡母供養 衣川 重之様(念西)

亡母供養 中田 武紀様(駅前)

亡妻供養 山田 道生様(末)

☆平成二十七年五月

亡父供養 浦上 孝好様(向)

☆平成二十七年七月

亡父供養 荒木 光雅様(三谷)

夜久野町の人口は 平成27年6月末日現在

☆人口 3,711人 (-117人)

(男) 1,761人 (-44人)

(女) 1,950人 (-73人)

☆世帯数 1,578戸 (-27)

()内は去年同期

(市人口統計表による)

編集後記

例年より早めの開花と、同じく例年より長めの開花期間であった桜を愛でながら、この大役を仰せつから、はや梅雨最中。蒸し暑さの中で、我々にとって記念すべき本年第一号の出版において、皆様方のお手元に届く頃には梅雨も明け、夏真っ盛りの頃でしょう。奮然ながら、数多の諸先輩方も苦慮されたであろう、この編集業務に、果して我々が携わっているのだらうか、という自問とも戦いながらの日々であります。

歳月人待たずとか。自身の老いを気に病み始めた昨今、過ぎ去った昔を振り返れば、確かに時代の流れは早かった(ように思う)。ただ午後とはいえ必死にその流れに取り残されまいともがいていた。時を経て現在に至っても、時代の流れは相変わらず早いもので、それについて行けぬ自分がある事に、あらためて気付く。焦らずともいいが、躊躇せぬ計画性を持って流れに乗らねば、と思う。わが町が抱える諸問題についても、この町の一人一人が自身の事として、真摯に現実と向き合い、問題意識を持って対応に向けた一歩が踏み出せるよう、歳月を友としてその中に身を委ねられたら、と切に願う。